

## 第5回ひょうたん島川の駅ネットワーク市民構想会議

開催日時：平成25年9月26日（木）14:00～

開催場所：徳島市役所8階庁議室

### 1. 開会

挨拶（会長）

### 2. 議事

会長により進行

- ・ 第4回市民構想会議のまとめ（報告） 資料1
- ・ 川の駅候補地の整備について 資料2
- ・ ひょうたん島シンボルエリアの将来像について 資料3
- ・ 活動団体ヒアリング調査（報告） 資料4
- ・ 川の駅を核とする活動推進のための組織(案)及び  
川の駅候補地を拠点とする活動団体分布図 資料5
- ・ 第3回ワークショップについて 資料6

### 3. 閉会

次回開催予定

連絡事項

第4回市民構想会議のまとめ(平成25年7月16日)

注) 事務局意見は回答を求められた場合のみに発言した

キーワード	委員意見	事務局意見
助任橋袂棧橋第1案 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと川の中に出さないと、船が着けにくい。</li> <li>・30mくらいのポンツーンでないと難しい。</li> </ul>	
助任橋袂棧橋第2案 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切り込んでいるので、船は着けやすい。</li> <li>・ポンツーンの観点から行くと、第2案の方がいい。</li> <li>・風下からアプローチしたり、風上からアプローチしたりということができる。</li> <li>・ポンツーンの奥行きが短く、2面性を使える。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーといわれるアプローチだが、なぜ一方方向でしか考えていないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点の素案であり、細かい部分は、今後の必要に応じて検討を行う。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少しランドスケープとして、優しいつくり方ができないか。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船の縦着けは着けにくいという話があったと思うが、そういう面での配慮はどうなっているのか。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>潮によりポンツーンの右側、左側どちら側にでも着けられるので着けやすくなっている。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1:4の25%勾配は車いすにはきつくないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1:4は車いすの勾配ではありません。潮に対応する連絡橋の部分は、バリアフリーではないが、一番低い水位で1:4という技術基準は遵守しています。</li> <li>・船からあがって陸地でのスロープはユニバーサルデザインとしています。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車いすの人が使う場合はどうするのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点で、幅員も十分確保できないし制約もあるので、ある程度のサポートを前提とした中での1:4で計画しています。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助けがあった場合でも、この急な勾配は設計的なもので無理があるといったものはないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰かが必ずサポートするということが不可欠になります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡橋の両方に誰かいないといけないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それについてはまだ議論する余地はあります。</li> </ul>	

キーワード	委員意見	事務局意見
助任橋袂棧橋第2案 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の案でいくと、どうしても1:4の勾配になるということか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・干潮時は1:4になりますが、満潮時にはほとんどフラットな状態になります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一番リスクの高いところで判断していかないといけない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勾配を緩くすることで、どんどん奥に入ったり、横にふっていく必要があるのでは、距離が長くなります。それについては今後検討する必要はあると思います。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンツーンを今10mにしているが、これを12mにするとだいぶ違って来る。2m前に出ると勾配も違って来る。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船を着けるのは、10mより12mのポンツーンの方が止めやすい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー、使いやすさには十分配慮していただきたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーは車いすの人だけでなくいろんな人が使用するのでは、設計して使用する前には必ず、当事者に来てもらって使って頂くというような配慮もお願いしたい。</li> </ul>	
徳島文化公園前棧橋 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今捨て石をしているところをだいぶカットしないと、船は入りにくいと思う。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・捨て石を移動させるのは、大変である。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階段は滑ったりして安全ではないので、利用しないほうがいい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンツーンの長さが10mになっているが、長さはどうか。 10mの所に着けるのは難しい。</li> </ul>	
川側への張り出し について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の原案は、現況法線いっぱいになっているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現況法線いっぱいです。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川の中央にポンツーンを出していけば、使いやすいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回提示した計画は護岸法線より内側でということで作成しているので、川の方への張り出しについては、改めて検討が必要です。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけポンツーンを前へ出した方が着けやすい。</li> </ul>	<p>【徳島県河川振興課の回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見の趣旨は理解しますが、ポンツーンを護岸法線から川側へ出せるかどうかについては、改めて検討が必要となります。</li> </ul>

キーワード	委員意見	事務局意見
川側への張り出しについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助任橋袂栈橋のポンツーンを12mにするともっと前に出る。これも何か制限はあるのか。</li> </ul>	<p>【徳島県河川振興課の回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川管理の考え方として、川側への張り出しは河積阻害などがあることから、簡単に許可できることではないことをご理解ください。</li> <li>それをふまえて徳島市も護岸法線より内側で案を検討していただいていると思いますので、川側への張り出しについては改めて検討が必要となります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助任川の中央に向かって今10mになっているが、もっと川側に出してもよいのではないか。</li> </ul>	<p>【徳島県河川振興課の回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川側への張り出しの他、背後の陸側での処理を検討することは可能と思われます。</li> <li>・公園側はかなり改修が必要になると思われます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助任橋袂栈橋のポンツーンが、12mあってもよいのではないか。</li> </ul>	
案の決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助任橋袂栈橋の第1案か第2案かという点、<b>第2案をこの場で決定</b>して進めていく。</li> <li>・次回<b>第2案の修正案を提示</b>してほしい。</li> <li>・徳島文化公園前の栈橋は、<b>護岸に平行の栈橋</b>とする。</li> </ul>	
確認事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助任橋袂栈橋 <b>第2案について、ポンツーンの長さ10mを12mとして再検討</b>するということが良いか。その延長分の2mについては、川側への張り出しを河川管理者としては困難ということなので、基本的な考え方として、まずは<b>既設護岸法線から川側へ出さずに陸地側で工夫</b>ができるかどうかの検討をして頂くということが良いか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討して、次回構想会議にて提示します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島文化公園前栈橋 案は、<b>10mを12mにすることはできる</b>と思われるが、捨て石の移動や撤去の問題も出てくると思う。川側に張り出した方が船は着けやすいが、基本的に河川管理の考え方から川側への張り出しが困難であるので、捨て石の移動等で検討が必要になってくると思われる。数メートルの話なので、例えば、<b>捨て石の積み直しや、護岸の矢板構造などが可能かどうかについても検討</b>するということが良いか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改めて河川協議を行って検討します。</li> </ul>

キーワード	委員意見	事務局意見
拠点となる川の駅舎について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船は1回に何台くらい接岸できるのか。観光スポットの一つとなると、かなり窮屈になるのではないか。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3台くらいは着けられる。船の台数も、今くらいがちょうどいい。ただ、雨天時に対応可能な船があったほうがいい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業主体は棧橋に関して誰になるのか、この西地区の開発になるのか、そのあたりが今ひとつ分からない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川の駅舎の底地を取得するのは、徳島市となります。棧橋の維持管理も、徳島市と考えております。駅舎部分を実際に誰が運営していくのかについては、今後の検討となります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅舎は一部屋というよりは、空間の方がいい。誰もが利用できる、開かれた空間がいい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船に乗る人は必ず駅舎を通ったり、寄ったりしないといけないということはないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その必要はないです。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新町西地区の再開発の中で、駅舎だけ単独のゾーニングエリアというふうに考えているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20坪程度をたたき台として、広さを示しています。店舗のような、いくつかあるスペースの中のひとつというイメージです。独立したものは考えておりません。あくまでも、商業ビル内の一区画ということです。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単独の駅舎を構えるとか待合所をつくるのではなく、他の施設と融合して、オープンなかたちで日常的に使われると、より西地区も良くなるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本設計に着手したばかりですので、配置計画を含めてこれから検討していくようになります。その中で権利者の合意形成という重要な作業も入ってきますので、絶対この場所がよいというご要望には、必ずしもお答えできないケースがあります。それらも含めて川の駅の拠点となる施設はどのようなものがよいというご意見を頂いて、可能な限り反映させていきたいと考えています。</li> </ul>

キーワード	委員意見	事務局意見
拠点となる川の駅舎について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽ホールホワイエとあったが、それはパース図の建物のだいぶホールの向こう側になるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このパース図の赤色で少し見えている場所が大ホール、その向こうが小ホールというのが、都市計画素案のたたき台としての配置図です。これも基本設計はこれからですので決定したものではありません。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の前にある公園は、どういう位置づけか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新町橋西公園というのがあります。現状の公園を一度廃止しますが、形を変えて復元するというイメージです。あくまでも都市公園という位置づけです。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船着場のバリアフリーも含めて、公園の面積さえ緑地帯として確保すればどこでもいいのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県との河川協議等である程度話をしています。大まかな変更というのであれば可能かと思います。これから基本設計に入りますので、これで決定というわけではありません。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・派出所については、どうなっているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再開発事業には入らない旨、正式に県の方から返答を頂いています。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンツーンに降りてくるには、新町橋の方からでなくても反対側にスロープをつくっても問題ない。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新町西地区の再開発ビルには、観光バスが止められるような駐車場はあるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点では、施設区域内にはありません。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、両国橋へ船に乗りに来る観光バスは、停めてはいけないところに停めている。交番の前に停めて黙認してもらっている状態である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光バスについては、阿波おどり会館前に大型観光バスを止められるスペースがあります。阿波おどり会館を見ていただいた方にこちらへ来てもらう、またその逆等、相互利用をお願いしたいと思います。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阿波踊り会館まで遠くはないが、やはり橋の上で乗り降りをする人が多い。</li> </ul>	

キーワード	委員意見	事務局意見
拠点となる川の駅舎 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船に乗っている間も、観光バスは橋の上にいるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新町橋通り沿いで、タクシー乗り場や、バスが停まれる場所をこれから検討することになります。</li> </ul>
	<p>その間はどこか走ってくるが、10分くらいは橋の上で待機している。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型バスはどれ位の頻度で来るのか。</li> </ul>	
	<p>月に10台は来る。大型駐車場を整備すれば、もっと人は来ると思われる。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークのできる川の駅のどこかに大型バスの止められる場所があったら、長い目で考えるとそれが集客や発展に結びつくのではないか。</li> </ul>	
シンボルエリア について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンボルエリアというのは、以前からあったのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島市としては新町橋を中心とした一定の区間を県内外の方にPRしていきたいというのが根底にあります。その中で川の駅構想とあわせてシンボルエリア的なものに関してご意見を頂きたいということです。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・なにか検討案のようなものが出てくるのか。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここから発進するのであれば、<b>次回の会議で議論</b>したらどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点となる川の駅と新町西地区の再開発をあわせて、このエリアを徳島市は「心おどる水都とくしま」という将来像の実現を目指しています。ここは県内外の方が徳島へ来て水都を実感できる、心癒されるというエリアを目指しています。その具体的なシンボリックイメージをお話しいただければと思います。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンボルエリアに関係する人は、この人達だけでいいのか。</li> </ul> <p>提案をしていただいて、検討していく。</p>	

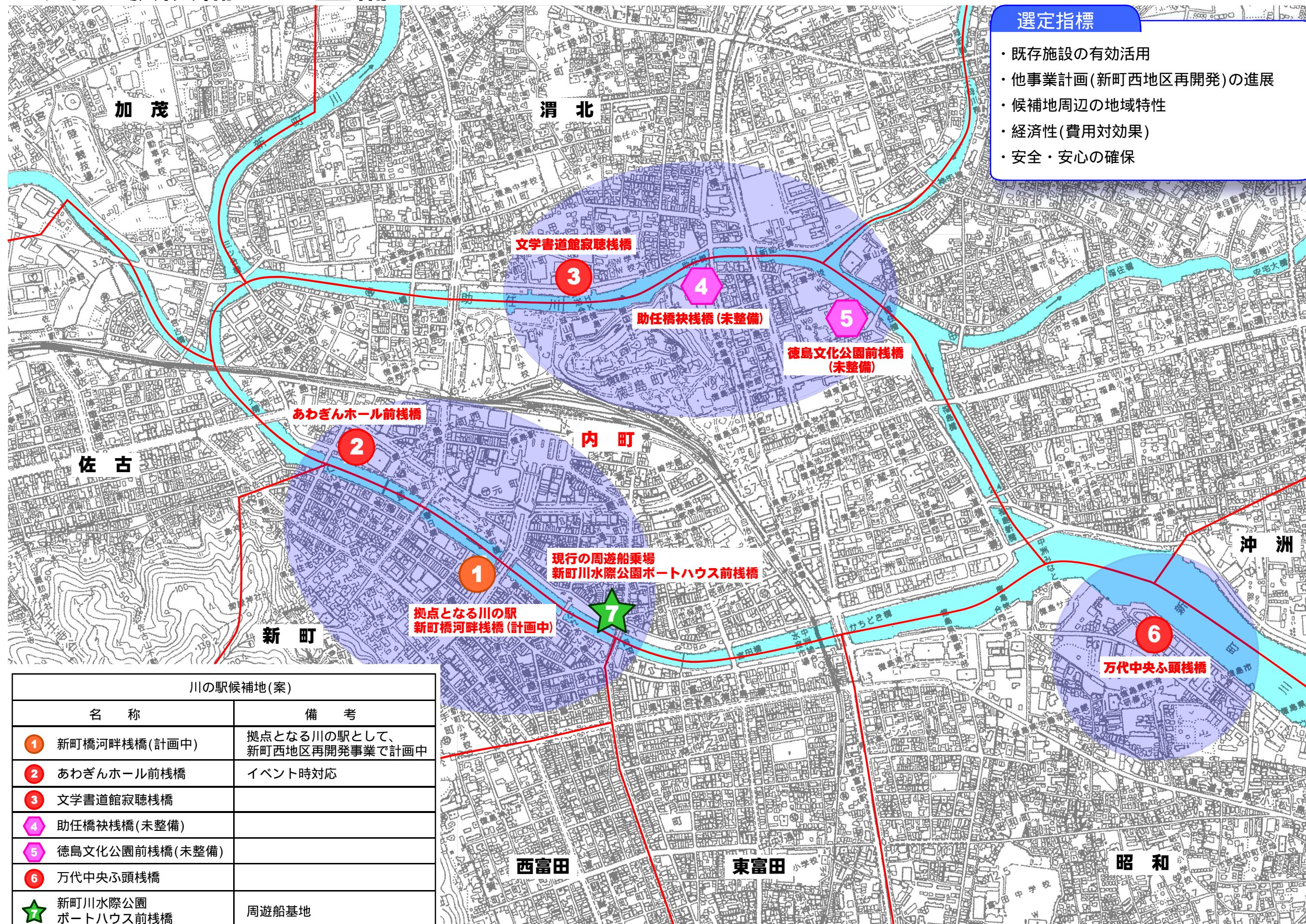
キーワード	委員意見	事務局意見
シンボルエリア について	<ul style="list-style-type: none"> <li>この構想会議でシンボルエリアの将来像が決定しても、実施されるわけではないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ここで全てが決まるというわけではないです。川の駅をいろいろ検討していただくにあたって、そういったイメージを一つの目標にしてにぎわいを点から面へというのを目指していきたいと思っております。既存の整備したのものも含めて、ここをどう活かしていくかということになると思います。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>元気が出るようなにぎわいをつくるのが、大きな目的の一つである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>川の駅構想を進めさせていただくので、一つの目指すべきシンボリックなものを提案させていただきたいと思いません。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が位置づけてくれたら、前に進むということか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>もちろん川の駅構想策定とセットで、ある程度進めて行けると良いと思っております。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひょうたん島の景観事業というのを建築士会青年部で、20年以上前から活動をしている。アンケート調査やひょうたん島周遊船に乗って撮影会等も行った。2009年国交省のまちづくり担い手支援事業で補助金を付けていただきながら、ひょうたん島八景を策定した。その頃に緑化調査もふまえて両国橋周辺でもう少し新たな提案ができないかということで計画したものがある。それが今回シンボルエリアの景観策定ということで一度提案はしたが日の目は見えていない、模型も捨てようとしていたものを、ご紹介させていただけることになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアは建築士会青年部さんで「あしたのひょうたん島」という、ひょうたん島を考える計画が立案されています。この計画は、長く継続されているので、それを埋もれさせてしまうのはもったいないという気もします。せっかく今まで積み上げてこられたものがあるので、それを踏まえて、この会から発信できればと思います。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>検討だけではなく実際に生きてくるような、まちづくりのにぎわいになっていくということがすごく大事になってくるので、そこまで含めてお願いしたい。</li> </ul>	



キーワード	委員意見	事務局意見
ソフト面について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今は整備とかハードの部分を話し合っているが、実際にできあがったとき、ソフト面の部分も我々が責任を持つ必要があるのではないか。本当にハコモノだけをつくってこれで満足感をあげるというのではなく、<b>ソフト面というものも今後ある程度検討していかないといけない</b>のではないかと。</li> <li>物をつくっていかにそれを有効活用できるかという事が大事なので、どこかで検討しないと</li> <li>いけない。</li> <li>・難しいとは思いますが、<b>体制というか気持ちをつくっておくと柔軟に対応</b>できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6回に向け、次回に、整備した場所をどのような団体の方に、どのような使い方をし</li> <li>て頂いたらふさわしいかとい</li> <li>った観点から、一部ご報告</li> <li>をさせていただきます。</li> </ul>
WSIについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WSまとめ、アンケートまとめを見て、にぎわいが伝わってきた。</li> <li>・WSまとめ、アンケートまとめには、情報がたくさん詰まっているので、今後の議論に活かしてい</li> <li>きたい。</li> </ul>	

# 川の駅候補地の整備について

資料 2



\* 未整備棧橋における整備の優先順位は、助任橋袂棧橋、徳島文化公園前棧橋の順とする。  
 \* 県庁前棧橋(未整備)については、今後川の駅の利用状況等を見極めながら、将来的な検討課題とする。

S=1:10,000

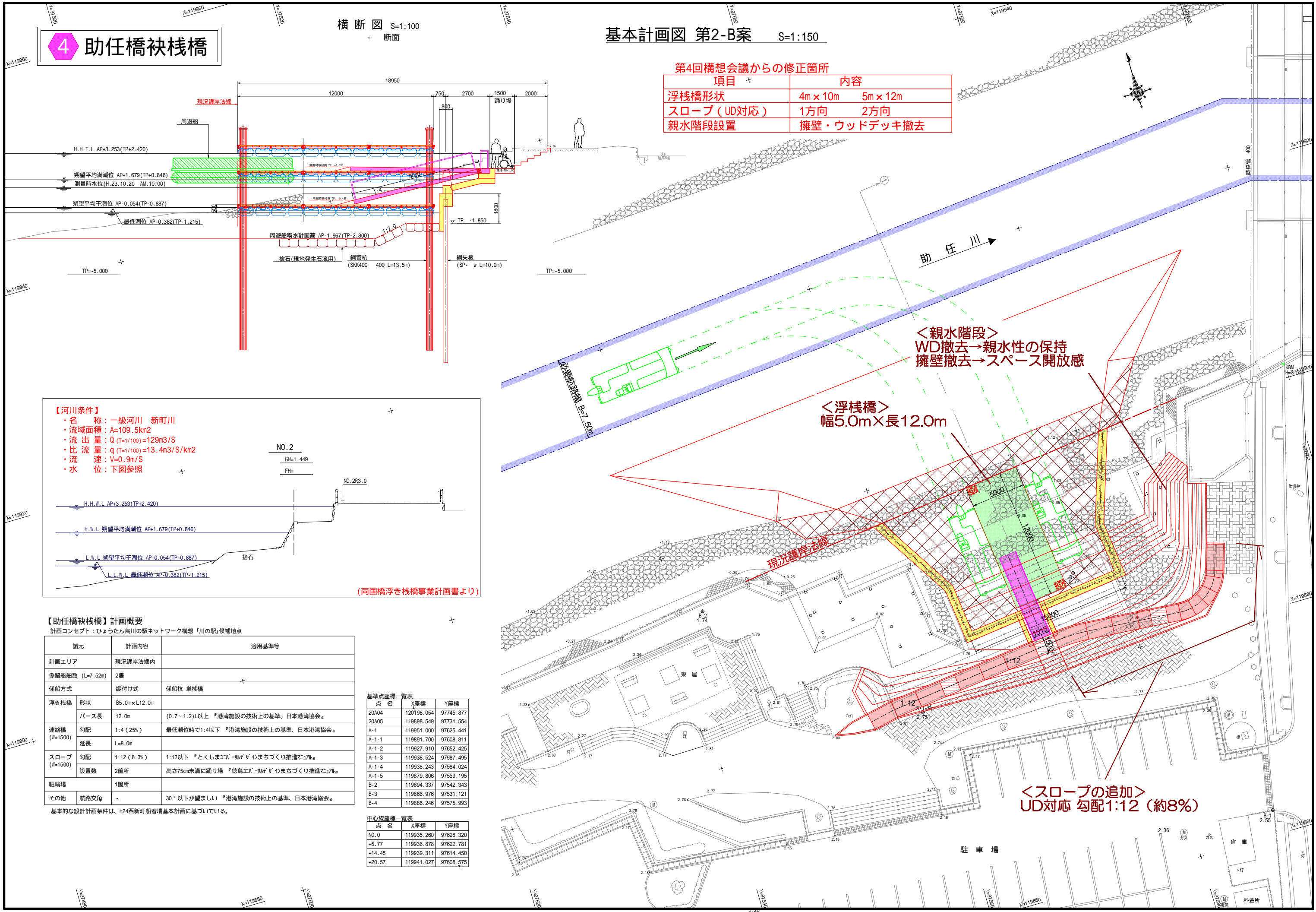
# 4 助任橋袂棧橋

横断図 S=1:100  
断面

基本計画図 第2-B案 S=1:150

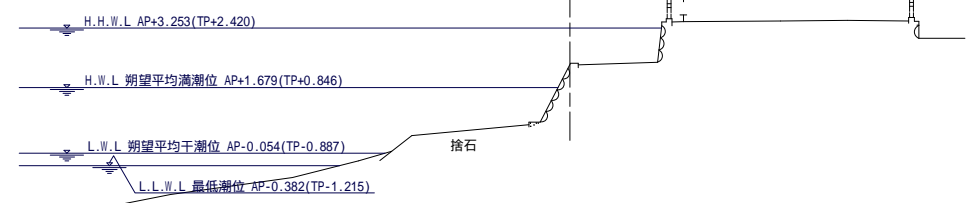
第4回構想会議からの修正箇所

項目	内容
浮棧橋形状	4m × 10m 5m × 12m
スロープ (UD対応)	1方向 2方向
親水階段設置	擁壁・ウッドデッキ撤去



- 【河川条件】
- ・名称：一級河川 新町川
  - ・流域面積：A=109.5km<sup>2</sup>
  - ・流出量：Q (T=1/100)=129m<sup>3</sup>/S
  - ・比流量：q (T=1/100)=13.4m<sup>3</sup>/S/km<sup>2</sup>
  - ・流速：V=0.9m/S
  - ・水位：下図参照

NO.2  
GH=1.449  
FH=



(両国橋浮き棧橋事業計画書より)

## 【助任橋袂棧橋】計画概要

計画コンセプト：ひょうたん島川の駅ネットワーク構想「川の駅」候補地点

諸元	計画内容	適用基準等
計画エリア	現況護岸法線内	
係留船舶数 (L=7.52m)	2隻	
係船方式	縦付け式 係船杭 単棧橋	
浮き棧橋	形状	B5.0m × L12.0m
	バース長	12.0m (0.7~1.2)L以上 『港湾施設の技術上の基準、日本港湾協会』
連絡橋 (W=1500)	勾配	1:4 (25%) 最低潮位時で1:4以下 『港湾施設の技術上の基準、日本港湾協会』
	延長	L=8.0m
スロープ (W=1500)	勾配	1:12 (8.3%) 1:12以下 『とくしまユニバーシティまちづくり推進に77』
	設置数	2箇所 高さ75cm未満に踏み場 『徳島ユニバーシティまちづくり推進に77』
駐輪場	1箇所	
その他	航路交角	30°以下が望ましい 『港湾施設の技術上の基準、日本港湾協会』

基本的な設計計画条件は、H24西新町船着場基本計画に基づいている。

基準点座標一覧表

点名	X座標	Y座標
20A04	120198.054	97745.877
20A05	119898.549	97731.554
A-1	119951.000	97625.441
A-1-1	119891.700	97608.811
A-1-2	119927.910	97652.425
A-1-3	119938.524	97587.495
A-1-4	119938.243	97584.024
A-1-5	119879.806	97559.195
B-2	119894.337	97542.343
B-3	119866.976	97531.121
B-4	119888.246	97575.993

中心線座標一覧表

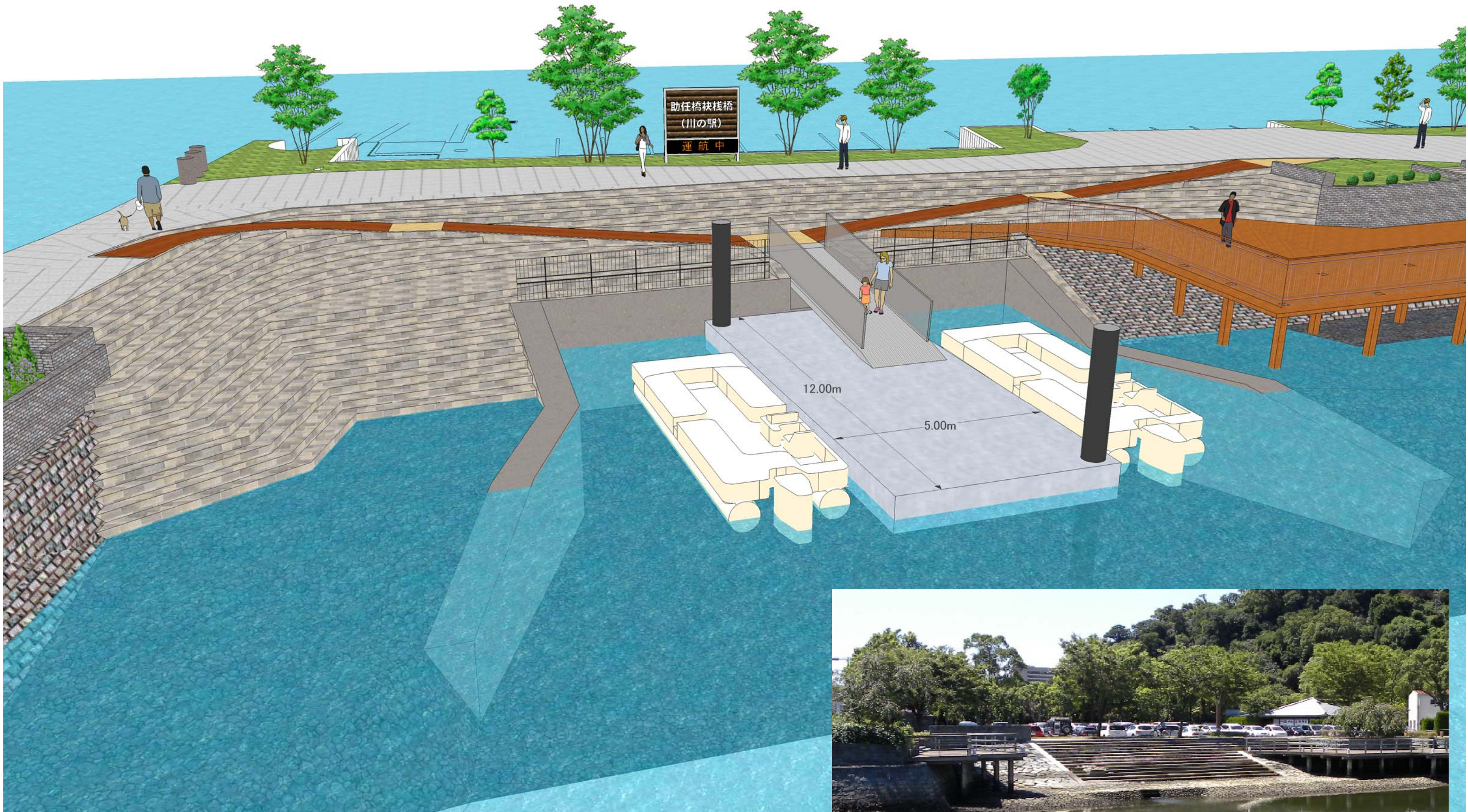
点名	X座標	Y座標
NO.0	119935.260	97628.320
+5.77	119936.878	97622.781
+14.45	119939.311	97614.450
+20.57	119941.027	97608.575

＜親水階段＞  
WD撤去→親水性の保持  
擁壁撤去→スペース開放感

＜浮棧橋＞  
幅5.0m×長12.0m

＜スロープの追加＞  
UD対応 勾配1:12 (約8%)

助任橋袂棧橋 第2-B案 完成イメージ  
(M.W.L 平均潮位TP-0.020m)



# 5 徳島文化公園前棧橋

## 【徳島文化公園前棧橋】計画概要

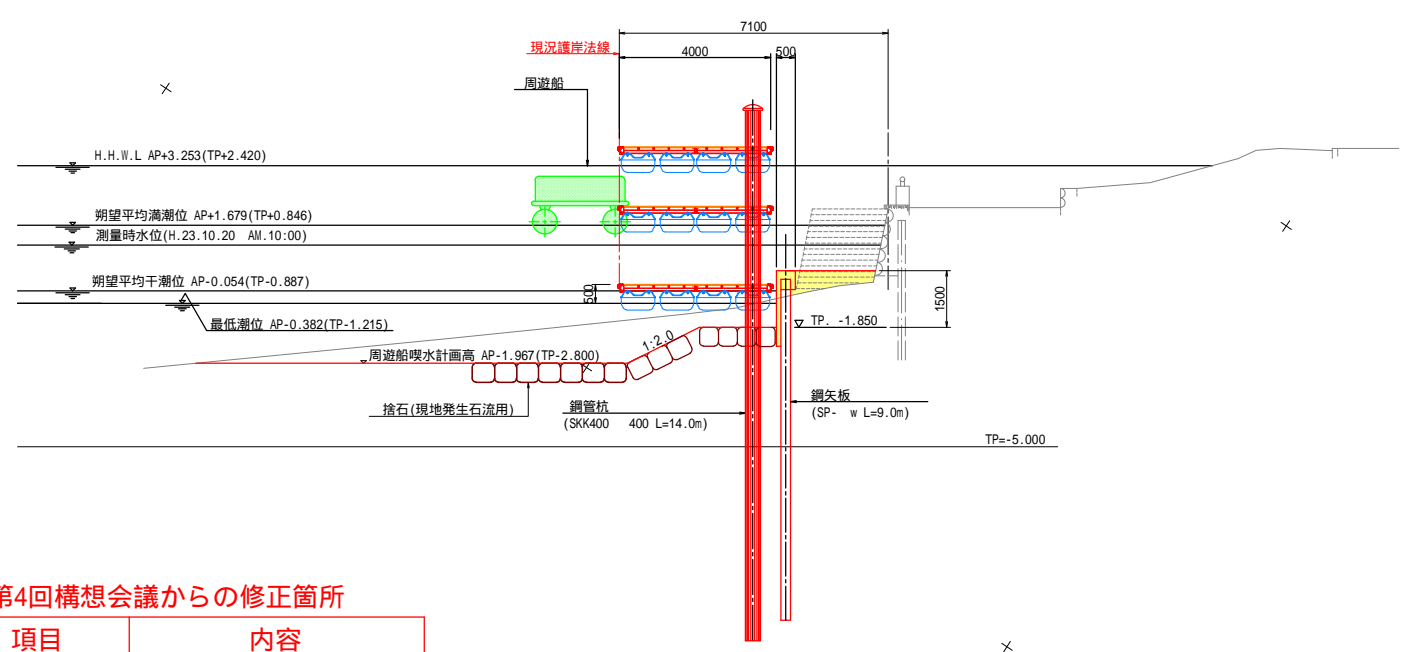
計画コンセプト：ひょうたん島川の駅ネットワーク構想「川の駅」候補地点

諸元	計画内容	摘要	
計画エリア	現況護岸法線内		
係留船舶数 (L=7.52m)	1隻		
係留方式	横付け式	係船杭 単棧橋	
浮き棧橋	形状	B4.0m x L12.0m	
	バース長	12.0m	(0.7~1.2)L以上 『港湾施設の技術上の基準、日本港湾協会』
連絡橋 (W=1500)	勾配	1:4 (25%)	最低水位時で1:4以下 『簡易係留施設設計マニュアル、日本マナビ・ナビ協会』
	延長	L=7.2m	
スロープ (W=1500)	勾配	-	1:12以下 『とくしまICP-別冊「ひまわり」の推進マニュアル』
	踊り場	-	高さ75cm未満に1箇所 『徳島ICP-別冊「ひまわり」の推進マニュアル』
駐輪場	-		
その他	航路交角	30°以下	30°以下が望ましい 『港湾施設の技術上の基準、日本港湾協会』

基本的な設計条件は、H24西新町船着場基本計画に基づいている。

## 基本計画図 第1-B案 S=1:150

## 横断図 S=1:100 断面

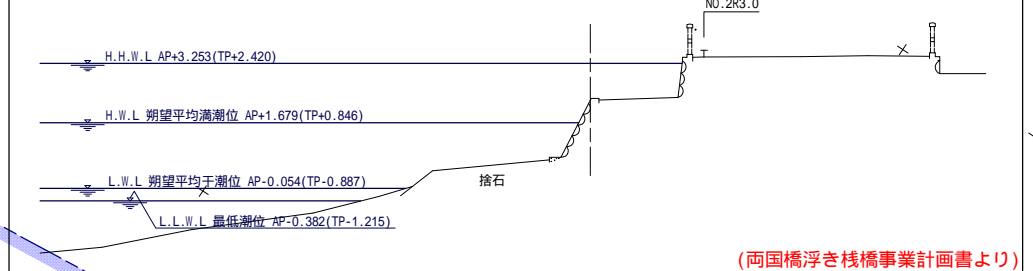


### 第4回構想会議からの修正箇所

項目	内容
浮き棧橋形状	4m x 10m 4m x 12m

### 【河川条件】

- ・名称：一級河川 新町川
- ・流域面積：A=109.5km<sup>2</sup>
- ・流出量：Q (T=1/100)=129m<sup>3</sup>/s
- ・比流量：q (T=1/100)=13.4m<sup>3</sup>/s/km<sup>2</sup>
- ・流速：V=0.9m/s
- ・水位：下図参照



(両国橋浮き棧橋事業計画書より)

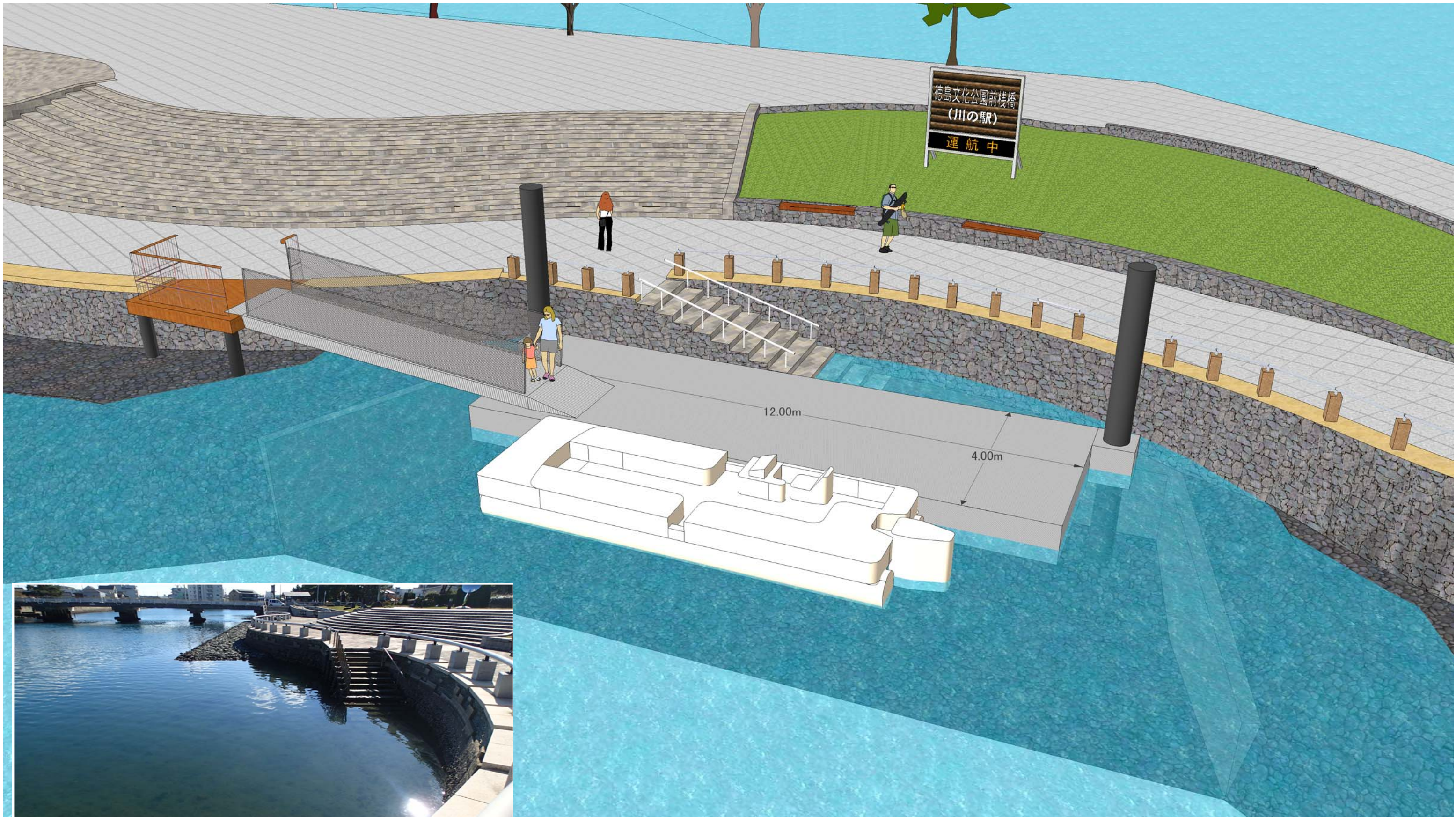
<浮き棧橋>  
幅4.0m x 長12.0m

現況護岸法線

### トP1-座標一覧

点名	X座標	Y座標	Z座標
S-1	1000.000	1000.000	2.640
S-2	1000.000	931.670	2.460
S-1-1	969.424	1004.037	1.316
S-1-2	1022.983	1020.145	2.837
S-1-3	1019.338	998.052	1.260
S-2-1	987.395	934.919	2.562
S-2-2	960.512	940.939	2.409
S-2-3	985.578	923.539	1.767
S-2-4	994.570	911.715	1.322
S-2-5	1020.312	918.350	1.099
S-2-6	1006.445	946.180	1.608

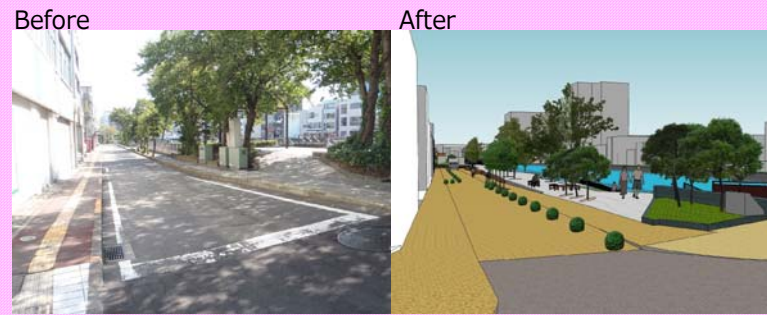
徳島文化公園前棧橋 第1-B案 完成イメージ  
(M.W.L 平均潮位TP-0.020m)



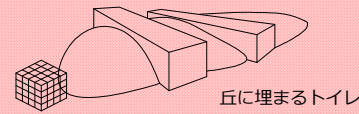
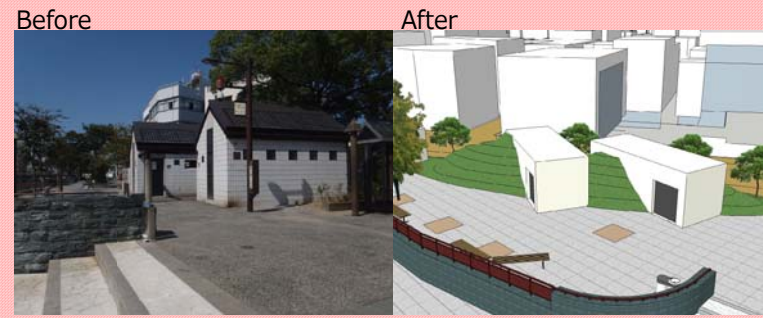
# ■ひょうたん島シンボルエリアの将来像 ～人・まち・川をつなぐシンボルエリア～

(イメージパース図を作成するための基礎資料)

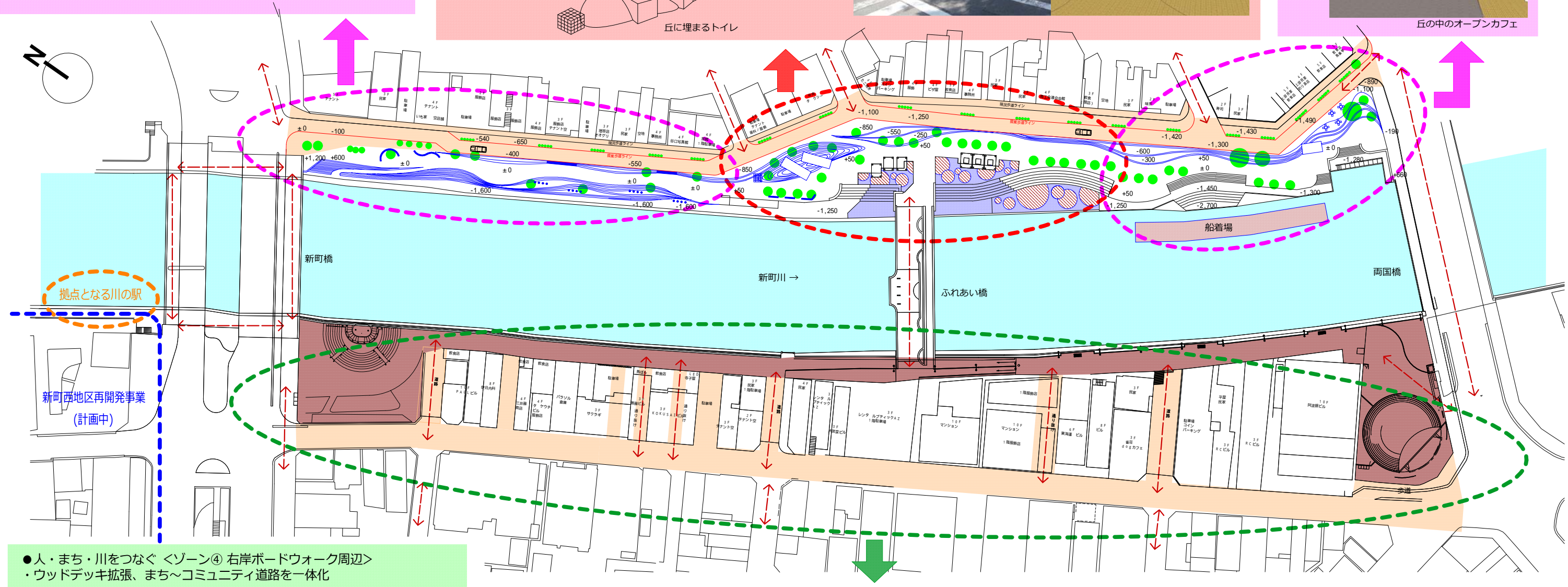
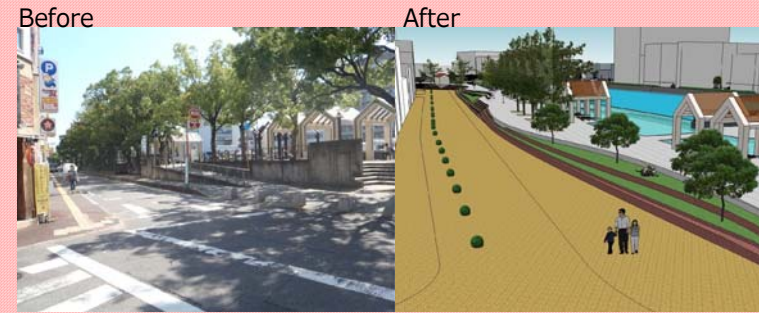
- 人・まち・川をつなぐ <ゾーン①：新町橋からのアプローチ>
- ・段差を減らす。コミュニティ道路～まちを一体化



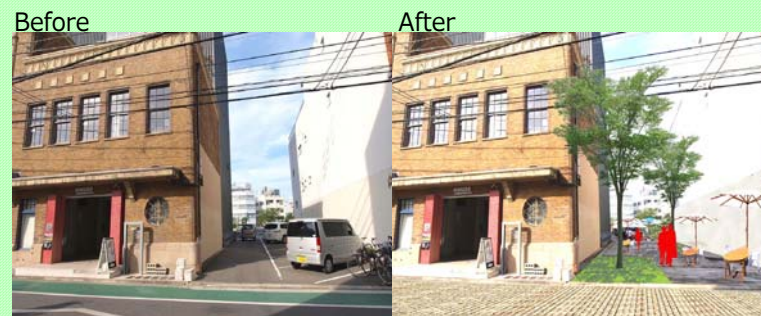
- 人・まち・川をつなぐ <ゾーン②：イベントスペース>
- ・機能をもつオブジェ、デッキの島 → 人の居場所をつくる



- 人・まち・川をつなぐ <ゾーン③：両国橋からのアプローチ>
- ・段差を減らす。
- ・コミュニティ道路～まちを一体化



- 人・まち・川をつなぐ <ゾーン④ 右岸ボードウォーク周辺>
- ・ウッドデッキ拡張、まち～コミュニティ道路を一体化

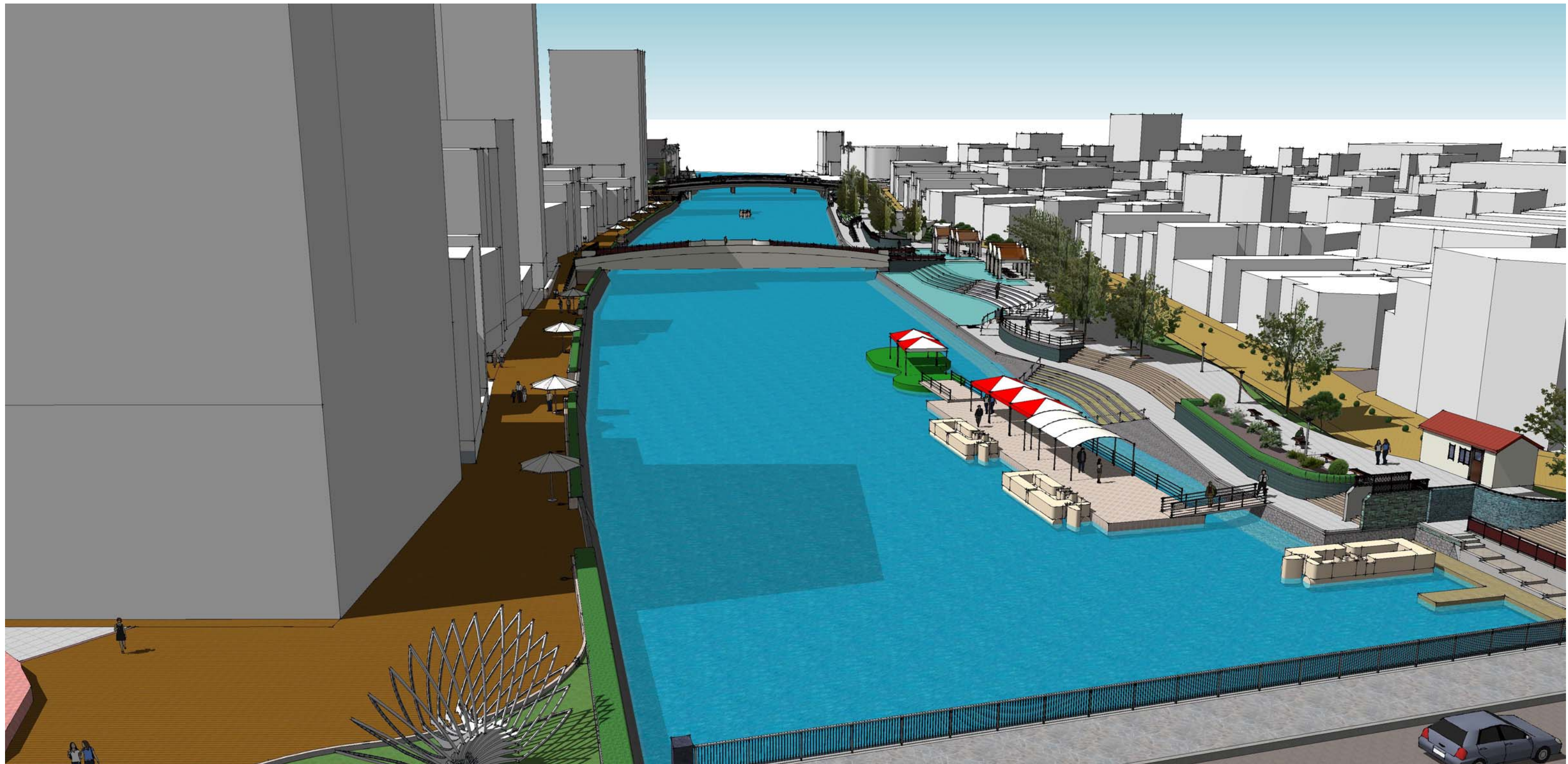


コミュニティ道路：歩行者の安全性や快適性を目的とした交通静穏化施策の一つで、自動車の通行を主たる目的としない道路。

※本資料は、市民や来訪者など、水辺利用者の視点からの提言をとりまとめ、徳島県建築士会青年部の協力のもとに作成したものである。

# ひょうたん島シンボルエリアの将来像 ～人・まち・川をつなぐシンボルエリア～ (平成25年9月26日現在作成中)

両国橋方面から





# ひょうたん島シンボルエリアの将来像 ～人・まち・川をつなぐシンボルエリア～ (平成25年9月26日現在作成中)

新町橋方面から



■活動団体ヒアリング調査(報告)

【川の駅候補地の中心的活動団体:ひょうたん島川の駅連絡会参加団体】

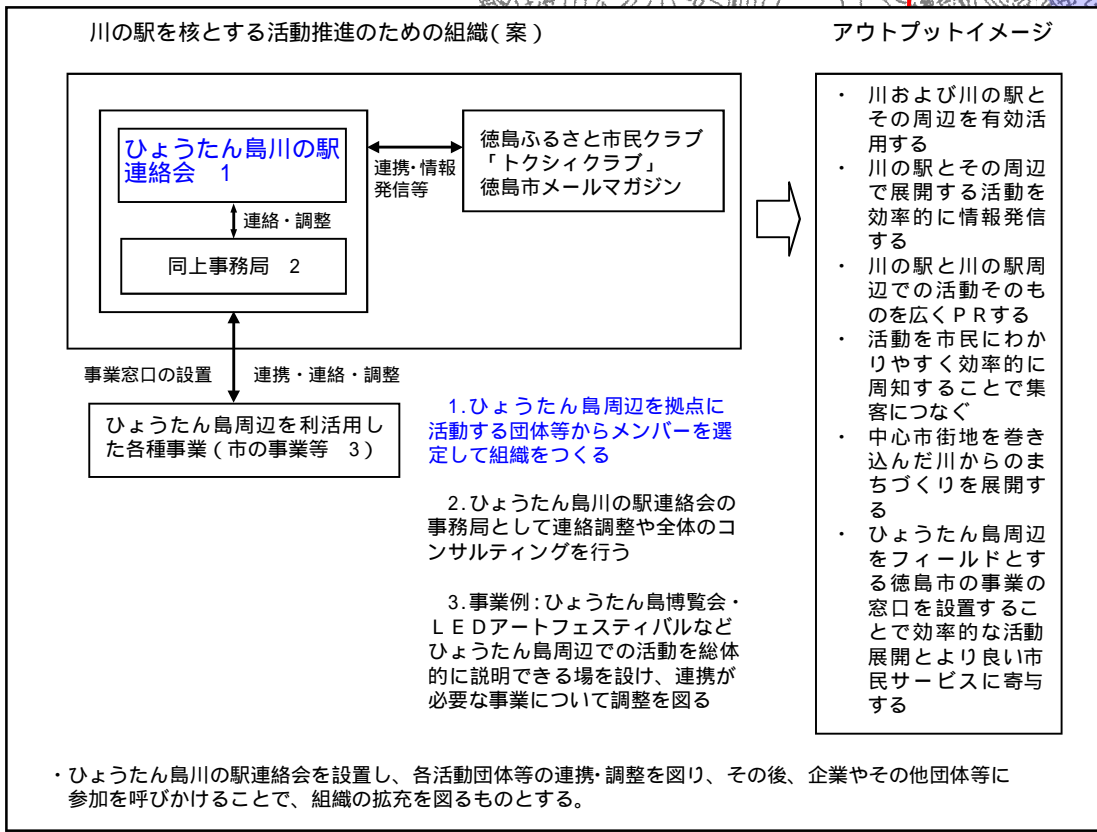
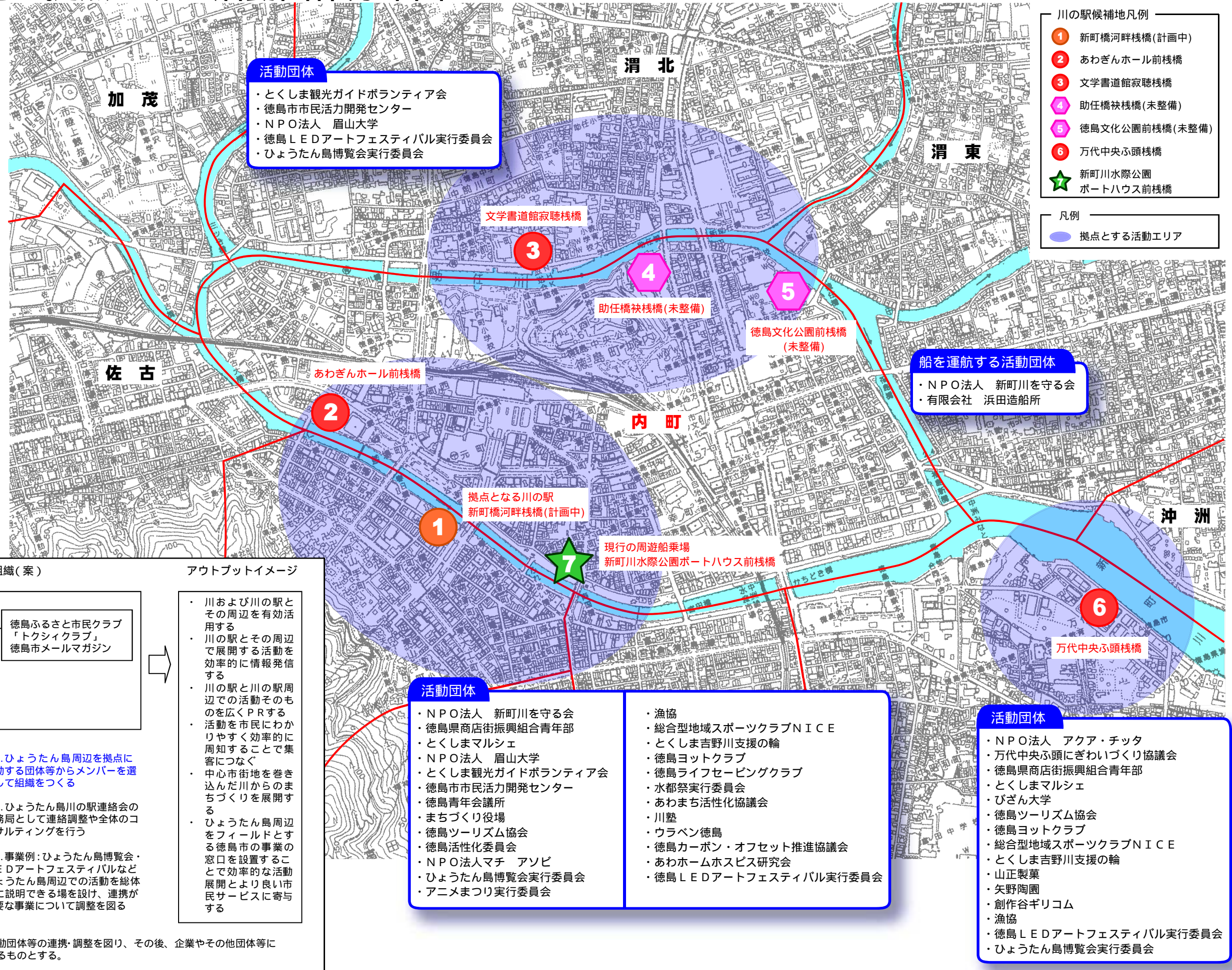
活動団体名	ヒアリング対象者	川の駅候補地で使ってみたい場所	川の駅にあれば良いもの	川の駅に期待すること	現在の活動内容等	一緒に活動している団体等	今後、川の駅候補地で活動してみたい内容等	活動決定する時のプロセス	連絡会議(仮称)への参加
NPO法人新町川を守る会	中村英雄(理事長)	・徳島大学工学部の門前にタラップをおろす ・徳島大学内へ水路を掘って、構内まで船で行けるようにする ・あわぎんホール前棧橋 → イベント時のみ停車にしてもいい	・駅長がいる → 船から降りたら話のできる人がいる ・トイレがある ・停留所	・起点と各駅の連絡が取れるシステム → 乗船待ちが〇〇人います等 ・寂聴棧橋の対岸に棧橋を作って、徳島駅と横断歩道橋でつなぐ ・体育館やプールなども内町小学校付近へ移し徳島の顔を作る ・徳島駅まで運河をほって、船でそのまま駅に行く ・寂聴棧橋の棧橋を広げて、棧橋の両側から船を停められるようにすると、もっと停めやすくなる ・今あるものを活かす → 無理をしても費用がかかるだけになる	・クリーンアップ活動 → 毎月1日と第3土曜日 川の清掃活動 → 毎月第2日曜 吉野川河川敷アドプト活動 ・リバークルージング活動 → ひょうたん島クルーズ 元旦、悪天候(大雨・警報発令時) 時以外は、毎日運航 → 吉野川クルージング ・リバーサイド修景活動 → 3001年の森の植樹活動 高知県大川村で年3回 植樹と下草刈り ・イベント活動 → 吉野川フェスティバル → 川からサンタがやってくる → 寒中水泳大会 → イベント時の船の運航	・とくしまマルシェ ・アクア・チッタ ・徳島ヨットクラブ ・漁協と連携 → 魚の販売	・北島町、松茂町、鳴門市などへ活動を広げていく ・1日1回アスティ徳島や沖洲への定期便を運航する ・自転車も乗せて運航する ・環境重視の活動 ・環境をよくして、水辺に人が集まるまちづくり → 「掃除をするから川がきれい」から、「ごみを捨てないから川がきれい」というふうに変えていく ・動物園跡地に、聾学校と一緒にクラシックホールをつくる → 環境も良く、文化にふれられる街にする ・川辺に文化が集まってくる → 環境・教育・医療・文化があれば徳島は栄えるし、住んでいる人も楽しめる	・日程と活動内容があれば決定する ・法人会員なら、ポンツーンの利用はできる ・利益目的の活動に、ポンツーンの貸し出しはできない	参加する
とくしま観光ガイドボランティア会	黒田忠良(副会長)	・徳島文化公園前棧橋 → 他の棧橋とは距離があり、市民遺産の藩政の松や関寛斎の像がある福島橋にも近く、歴史遺産も多く話題性があるので「まち歩き」イベントに使いやすい	・トイレ・手足洗い場・屋根付きベンチ・資機材入れ(ベンチ下、腰板裏)・案内地図版・管理者を常駐させるなら足湯・花壇・ハート型の石(新たな発見になり物語を作りやすい、ちょっとした遊び心) ・イベント時や飲食展開を考えるとあれば移動販売スペース(全ての川の駅ではなく、利便性のいい場所)・手荷物預かり・自販機・観光バスの駐車場・乗降できる停車場(両国橋袂ポトハウス前棧橋)・両国橋から新町橋にかけてもう少しにぎわい(屋台等)があればいい	・観光客だけでなく地域のコミュニティの場となれば ・地域の人が集まってくるような花畑、画となる風景を作る ・桜と紅葉は1本あれば、人は集まってくる ・カメラマンが集まってくるような風景づくりを心がけると、人は自然と集まってくる ・花の数と同じだけカメラマンが集まる ・三ツ台橋周辺にも、川の駅があると良い	・とくしままち歩き → 毎週土・日定期便コース → 事前予約の必要な5コース → 事前予約の必要な季節企画コース ・ボランティア登録人数 → 約73名 → 実際に活動しているのは2~3割 → 会員は女性が多いが、活動しているのは男性の方が多い	・NPO法人 徳島ツーリズム協会からガイド派遣の要請		・観光部署でまち歩きコースを決定する	参加する
徳島県商店街振興組合連合会青年部	服部和彦		・川の駅ファンクラブをつくる → 入ると何か特典がある	・イベントばかりではなく個店を大切に、顧客を大切にすること ・使い方はある程度決めないといけないと思うが、決めすぎるとおもしろい物はない	・We Love 徳島笑顔キャンペーン → 1万人まで笑顔を増やす ・外注できたイベントの、サポートを行う ・釣り大会 → ゆとりの日制定記念イベント(ゆとりの日第1金曜日) → 市活センターに支援してもらった → 商店街や企業と協賛 → アクア・チッタでカフェ ・さくら祭り	・市活センター ・新町川を守る会 ・アクア・チッタ → さくら祭り等	・川を使ったイベント → 新町川を使った釣り大会 ・ひょうたん島周辺の桜めぐり → 桜を眉山頂上に植えて四国一の名称にし、周遊船でひょうたん島周辺のさくらの名所をまわる	・釣り大会は、商店街有志でじゃんけんをして、次の幹事を決めて他の人はそのサポートを行う ・青年部では決定できないので、案を出して、振興組合で申請をする	参加する
NPO法人びざん大学	長谷川晋理(理事長)	・徳島文化公園前棧橋(動物園跡地) ・徳島グランヴィリオホテル サンシャインとくしま → 観光客が空港から船に乗って、そのままチェックイン	・川の駅(棧橋)周辺の、後背地(ソフト面)の活用 ・観光バスなどの駐車場、停車場	・動物園跡地の活用...歴史・自然・今いる人たちが持っているものを活かす物づくり系、人材育成など体験できるもの ・広域の商業施設や象徴的なところへ船で行ける ・「いける」サービスの提供 ・ひょうたん島周辺をランニングしている人達のコミュニティをつくる ・川の掃除などに参加し、協力して盛り上げていく ・イベントなどをして、使いやすさをアピールする ・イベントなどで川の駅を使う団体は、1団体につき1人船の操縦者を出す → 船の操縦セミナーなどを開催して、操縦できる人を増やす	・新町～駅前を中心に活動 ・徳島大学で天体ショー ・ひょうたん島の川沿いを毎月マラソン部5~6名が走る	・新町川を守る会のお手伝い ・毎月各種団体や学生などから、連携の誘いがくる → 任意の団体やNPO法人、イベントのための実行委員会など	・ひょうたん島博覧会 → 中央公園(城山)で千山丸の制作 ・ひょうたん島周辺のホテルと連携 ・ひょうたん島の川沿いのマラソンコースに、象徴となる木やタイルや四国88カ所の目印を置く ・駅長会議 → 川の駅の連携 ・町内会に入っていない30~40代の住民を動かしていきたい ・元気がない街を、元気な街にしていきたい	・人と場所が見つかって、ここで何かやりたいということで決定していく ・お金が動くときは、理事会で決定をする ・日常のコミュニケーション(フェイスブックなど)の中で、決定をしていく ・好きなときに、好きなプランをたててを、好きな人が行う → なぜびざん大学という名前を使いたいかということを確認をする → 活動の後もびざん大学の名前は残っていく、継続していくので活動の趣旨などを確認をする	参加する

活動団体名	ヒアリング対象者	川の駅候補地で使っていた場所	川の駅にあれば良いもの	川の駅に期待すること	現在の活動内容等	一緒に活動している団体等	今後、川の駅候補地で活動してみたい内容等	活動決定する時のプロセス	連絡会議(仮称)への参加
とくしまマルシェ実行委員会	金森直人(事務局長)	・新町西地区(ハード整備によって利用の仕方が変わってくる) ・新町川でカヌー・サップなど ・ボードウォークにパラソルショップ	・新町西地区再開発ビルの川に面したところに、おしゃれなレストラン ・川遊びのできるアウトドアショップ → カヌーツアーのスケジュール管理や指導のできるショップ ・水際公園周辺をパラソルで統一	・駐車を整備をして、中心市街地に車が入ってくるのを減らすこと ・ボードウォークのレベルをあげていくこと ・給排水施設が必要 → 提供できる物が増えること → 衛生面も良くなりお客様が増え、相乗効果が得られること ・年間の日程をオープンにし、川好きや写真家が集まってくること ・川を楽しむ施設 → 助任橋袂では潮に関係なく、川を楽しむイベントが行える → 新町川で週末はジョギングやウォーキングの代わりに、カヌーでトレーニングを行う → 那賀高校など、カヌー競技の練習をする場所 ・ひょうたん島の自然環境をPRしていくこと → 水のきれいさ、あかてガニなど	・マルシェ(毎月最終日曜日) → 出店パラソル約80店舗 飲食店入れると100店舗以上 → 意識の低い出店者は入れ替えていく ・ナイトマルシェ(毎月最終土曜日) ・まちあそび(パラソルの設置)	・新町川を守る会 ・NPO法人 マチ★アソビ ・アニメまつり実行委員会	・新町西地区(ハード整備によって利用の仕方が変わってくる) ・新町川でカヌー・サップなどのイベント	・興味のあること ・街にひとつのソフトとしてあったらおもしろいと思えるもの ・お客様の反応をみて、どうすれば楽しんでもらえるかということを考える	参加する
徳島市市民活力開発センター	岸田 侑(マネージャー)	・助任橋袂棧橋 ・徳島文化公園前棧橋	・市バスの「川の駅」停留所 → 川の駅へ行く為の交通手段 ・駐輪場・フリーサイクル ・周遊船の1dayフリーパス	・川の駅ができ、イベントがしやすくなること ・水路として交通手段があること ・ひょうたん島の中の人たちに、活用しやすいものになること ・移動に船を使おうという発想になること ・船と自転車移動ができること ・ひょうたん島に興味を持って、好きになってもらうこと	・ボランティア活動をしたい学生と、学生の支援を欲しいNPOをつなぐ → 一般市民にイベントに興味を持ってもらい、会場へ来てもらう ・NPO支援と講座(会計・労務など)の開催	・びざん大学と共催 → 外へ向かっての発進はびざん大学、学生はサポートをする ・NPO団体等	・ひょうたん島博覧会 → 助任橋袂で音響施設の設置(音楽で盛り上げる) → びざん大学と学生をつなぐ ・川の駅ネットワークができたとき、そのネットワークの仲介役 ・助任橋袂棧橋 → 学生や川の駅周辺の住民の支援をする → 川を主体としたまちづくりの成功事例をつくる ・徳島文化公園前棧橋 → イベントに使用 ・川の駅周辺のイベントに、船で機材を運搬する	・NPO等の団体から、活動を行いたい課題があってできないと相談が来る → 市活センターがかかわることで、課題がクリアできるのであれば支援する。学生と活動を行いたいという要望が多い。 ①NPO等団体に学生さんに対する対応の仕方を指導する ②NPOから出された提案を学生も楽しめる内容にアレンジをしつつ、成果の上げられるものをつくる ③学生に社会に対する対応の仕方を指導する ④双方をあわせて話し合う → 小さな問題もきちんと解決をする。活動にかかわった人に時間をかけて、マッチングを成功させる。 ・事務局で決定するが、月に1回の会議で助言をもらう	参加する
NPO法人アクア・チッタ	岡部恭子(理事長) 岡部斗夢(事務局長)	・万代中央ふ頭棧橋 → 現在の活動拠点	・安全に乗降できる整備 → 高さの低いポンツーン → ウォーターアクティビティ(カヤックやサップ等)にも使用でき活用方法が広がる ・情報発信の起点	・簡単な使用形態が望まれる → 今は、使用申請書の提出が、イベントの2・3週間前には提出をしないとイケない。万代中央ふ頭を実証実験等でずっと使っている団体に対しては、もう少し規制を緩くして欲しい。 ・「ハレの場」(非日常)と「ケの場」(日常)の両方の機能が必要	・アクア・チッタフェスタ → 年に1回1日だけ開催(参加者は1000人を超えるアクア・チッタ最大のイベント) ・偶数月の第3土曜日に清掃活動 ・水際まちづくりビジョン → 万代中央ふ頭における新しい街のビジョンプランを策定 ・県や市との協働事業 → 地域密着型のまちづくり ・水際の夢プログラム → 今年度12回開催(講師の都合によって日程の決定) → カヌーやカヤックなど	・総合型地域スポーツクラブNICE → カヌー体験 ・山正製菓 → 和菓子づくり体験 ・矢野陶園 → 陶芸教室 ・創作谷ギリコム → 夏休み図画工作教室 ・とくしま吉野川支援の輪 → カヌー&水遊び体験	・万代中央ふ頭をもっと使って欲しい(知って欲しい) → 目新しいイベント → 集客の多いものや、注目度の高いイベント(ウォーターポールなど) ・とくしまマルシェと連携 ・他の倉庫利用者 ・パーク・アンド・ライドの拠点	・コアメンバー(事務局)で決定 ・ジャンル別の担当者で決定 ・ファンクラブに近い団体(アクア・チッタフレンズ)がある → SNS発進が他の団体より優れている	参加する
万代中央ふ頭にぎわいづくり協議会	原田直樹(運輸政策課係長) 佐川友美(運輸政策課主事) 富士貴子(にぎわいづくり協議会事務局)	・万代中央ふ頭棧橋 → 活動の継続	・バス停と同じような待合い場所(屋根付き)・ベンチ・トイレ(アクアチッタのトイレと兼用でも良い)・券売機(人の常駐は無理)・時刻表・定期券(1dayフリーパス) ・道路に川の駅の標識があると、分かりやすい ・ポンツーンの安全性 → ポンツーンが小さく乗降時はかなり揺れるので介助する人がいる(安全対策をきちんとする) → ポンツーンの安全性を確保するため杭を打つなど、何らかの対策が必要	・万代中央ふ頭を忘れないで欲しい ・周遊船の発着を、万代中央ふ頭棧橋にする → 駐車場がある ・にぎわいづくりに活用	・水上バス実証実験 → 14日間で利用者は約550人・1日8便で平均5人(単純計算)。利用者は親子連れが多い。ひょうたん島周辺500mくらいの幼小学校にチラシを配布した。昭和地区の人が徒歩で来たり、周遊船に乗るためだけに来ているリピーターが多い。 ・観光クルーズ(浜田造船所協賛)→ ビアクルーズ、クリスマスクルーズ ・清掃活動 ・万代中央ふ頭の倉庫街の構想、活用の規制緩和の協議会を主体として行っている → 倉庫の利用状況として、倉庫1は実証実験の参加者の選定中、倉庫2はアクア・チッタが利用、倉庫3は空いている → 倉庫利用が規制緩和になったので、倉庫以外の利用で使用されているところもある	・アクア・チッタ ・新町川を守る会 → 水上バス実証実験 ・浜田造船所 → 観光クルーズ ・総合型地域スポーツクラブNICE → レッツ・キッズ・カヤック 毎月1回開催(新町橋〜万代中央ふ頭) ・万代中央ふ頭の地権者 → にぎわいづくり協議会に入ってもらっている(将来的に町内会を目指している) ・万代中央ふ頭周辺の企業(協力者) → 万代町5丁目の半分にも達していない(清掃活動等に協力)	・防災、減災イベント → 源純夏さんが講師として、服を着たまま泳ぐ方法を指導する(FMびざんから提案) ・現在、条件付きの規制緩和中万代中央ふ頭の地権者に協議会に入ってもらっているが、温度差があるのでみんなで一緒に、万代中央ふ頭を盛り上げていきたい ・名物駅長をおく ・魚の朝市等 ・徳島市へのお願いとして → 徳島市で統一的な標識を設置して欲しい	・倉庫以外の利用については、協議会の中の構想委員会で、審査を行い決定する ・イベントなどの決定には、事務局で検討をして決定する → 倉庫利用者にはイベントなどの活動にはおおむね賛成してもらっている ・助任橋袂棧橋のあたりでのイベントと連携できるものであれば、連携をしたい	参加する

【川の駅候補地で活動する団体:登録団体候補】(基本は一般募集とするが、事前調査としてヒアリングを行った)

活動団体名	ヒアリング対象者	川の駅候補地で使っていた場所	川の駅にあれば良いもの	川の駅に期待すること	現在の活動内容等	一緒に活動している団体等	今後、川の駅候補地で活動してみたい内容等	活動決定する時のプロセス	登録団体としての参加
青年会議所	長澤孝典 (市街地活性化室長) 吉田啓司 (水都祭実行委員長)	・動物園跡地を活用したい ・中洲魚市場に棧橋があれば良い ・田岡病院の所に棧橋がかかっているとも良いと思う	・助任川の徳島大学側にビーチがあれば良い ・東船場のよう、川側に向かって開けている建物が増えること ・観光をメインにするのであれば、川に面している建物や橋の下面に絵を描く ・親水性のある場所 ・無料駐車場	・まちづくり(再開発)を中心にされている人たちに、もっと核になることの計画をして街全体を見て考えて欲しい ・両国・新町橋周辺で船を下りて、どこへ行くのかの動線付けが必要 ・中心市街地(東新町)がもっと活気づく ・新町川へ流れ込む川の美化も大事 ・全体のイメージが見えたら、もっと実のあるものに変えて行ける ・ひょうたん島博覧会委員会、川の駅委員会、水都祭の委員会等の横の繋がりができること ・若い人が水際に集まってくる ・費用対効果のあるもの ・行政主体のもとで、各団体が集った方が活動を行いやすいのではないかと ・ひょうたん島(川沿い)を遊歩道で整備し、ウォーキングやマラソンに利用する ・船で一周するだけでなく、船の上で物を売るなど川に目を向けてもらう ・阿波踊りを進化させていく → マンネリ化からの脱却 ・眉山から助任川まで直線でつながる	・とくしま水都祭(年に1回開催) ・東新町商店街	・毎年同じ団体と連携をしているわけではない ・イベントによって協力団体はかわってくる ・あわまち活性化協議会 → 水都祭 ・水都祭実行委員会 → 水都祭	・車で見られる映画館 ・ひょうたん島博覧会 → 年度が変わったばかりで、単独でのイベントは行えない → 要請があれば、人員の補助作業はできる → 年4回のイベントの内、参加できる時に参加をする ・水都祭 → 河床や花火等を行いたい → まちづくりを行っている団体の連合会をつくって、みんなで協力して、水都祭をつくりあげていきたい ・実行委員長が毎年変わるの、委員長によって活動内容が変わってくる	・担当者が内容を決めて、他の人はサポートをする ・地域に根ざす活動をするというコンセプトを大切にしている ・委員長の人脈や会長の意向を反映した活動 ・決まった団体との連携はないが、どこの団体とも連携はできるが、営利的ではない	わからない
まちづくり役場	小田大輔 (代表理事) 矢部拓也 (副代表理事)	・駅周辺のホテルを使用時に、船で送迎してもらえるような川の駅	・川の駅ごとのテーマ → 新町川でしかできないことをコンセプトにする ・降りたところからしか乗れないのではなく、どこからでも乗降できる駅 ・運航の仕組みを考える ・子供が水辺で遊べる場所 → 友達が友達を呼んで広がっていく ・川の駅+川遊び → 駅の近くにカヤックなどを置く倉庫が必要 → 会員制にして、人数が揃ったら倉庫を建てる	・日常的なものになること ・川の駅+陸の駅 → 陸から見ても良い場所となる ・継続的な活動の場となること ・川の駅周辺の空き店舗の紹介 → 川の駅周辺の空き店舗に、拠点(事務所)を移す ・川沿いでお店をしている人たちを巻き込む ・文化をつくるのが川の道をつくる ・「徳島は結婚式の時、川からホテルへ行ける」伝説をつくる → あわぎんホールや万代倉庫等からホテルへ船で送迎をする ・冠婚葬祭の会場へは川から移動(法事などでも活用できる) ・将来的に川の駅をネーミングライツにして、ホテルから駅の建設費を出してもらおう仕組みにする ・動物園跡地を賃貸物件にする → 経済を回す	・まちなかキャンパス → 徳島アゴラ~まちなかキャンパスから考える徳島の若者の市民活動~ → あわホームホスピス研究会 → 大学のゼミ授業 → 各種講座・教室 → 各種団体の会議や打ち合わせ → プログラミングの勉強会 (昨年度は5回開催)	・徳島活性化委員会 → まちなかキャンパスで、様々な企画を行った活動報告 ・あわホームホスピス研究会 → 月に一度の会員の意見交換会や、在宅ケアボランティアの育成研修 ・徳島カーボン・オフセット推進協議会 → 理事会や定期研修会とくしまマルシェ出店前の作戦会議 ・徳島大学、四国大学等 → ゼミ授業 ・ウラベン徳島 → Web制作を学んだり、意見の交換を行う	・事務所を川の駅に移せるのなら、ラフティングボートなどを提案する ・権限をもらえるのなら、いろいろなことを行うことはできる ・日常的に利用できるものを行う(日常的サービスの提供) ・自分たちが前に出てイベントを行うのではなく、サポートを行う ・今ある需要のものを新しくリメイクをする	・大まかな利用方針は決まっています、利用する人のサポートをメインに行う ・利用申込書と企画書(イベント内容や会議など)をメールで送ってもらい、それを審査し面接を行い決定する ・利用趣旨のあう人に利用してもらおう	
浜田造船所	浜田健造 (代表取締役)	・新町橋棧橋 ・万代中央ふ頭棧橋	・トイレ ・待合所(屋根・ベンチ) ・船を係留するときの、強固なピッド ・エムズハビネスが係留できる棧橋	・各駅で定期的にイベントを行い、川の周辺に人々を集約する	・観光クルーズ → ビアクルーズ(グランヴィリオホテルと連携) → クリスマスクルーズ → 近隣の幼稚園児などを乗せてのクルーズ	・万代中央ふ頭にぎわいづくり協議会 → 観光クルーズ ・グランヴィリオホテル → 観光クルーズ ・アクア・チッタ	・観光クルーズ		参加する
吉野川支援の輪	桑原純子	・万代中央ふ頭棧橋 ・新町川水際公園 ・ポートハウス前棧橋	・水道施設(使用した物を軽く洗える場所) ・ライフジャケットなどを干せる場所 ・更衣室 ・日陰 ・イベントを行っているという目印(旗を立てるなど) ・駐車場	・川の駅の利用のしやすさ、誰でも入りやすい環境 ・乗り降りしやすいポイント ・イベントを定着させて、リピーターを増やす ・イベント時の荷物の搬入がしやすくなること ・新町橋から水際公園の入り口を広げて、道路から公園へ人が流れやすくする	・水際公園で、つながりフェスタ ・新町橋~万代中央ふ頭で、カヌー体験	・アクア・チッタ ・新町川を守る会 ・川塾	・水際公園で、つながりフェスタ → 人の流れのあるところで行いたい → 徒歩の人も、県外からの観光客も来場しやすいところ ・新町橋~万代中央ふ頭で、カヌー体験 → 周遊船やジェットスキーに気を付ければ、初心者がカヌーをしやすい場所 ・川遊びを教えたい	・活動をしたい人が、声をかけあっておこなう	わからない

# 川の駅を核とする活動推進のための組織(案)及び川の駅候補地を拠点とする活動団体分布図



## 第3回ワークショップについて

### 1. 開催概要

開催日時：平成25年10月26日(土)・27日(日)

開催場所：助任橋袂棧橋・新町川水際公園ボートハウス前棧橋・万代中央ふ頭棧橋

開催内容：ひょうたん島博覧会にあわせて、徳島県建築士会青年部、NPO法人眉山大学と協働して、助任橋袂にて、仮棧橋を設置し、簡易な川の駅での活動を行うことで、ひょうたん島博覧会参加者と活動団体などに、アンケート調査を行う。

新町川水際公園ボートハウス前棧橋および万代中央ふ頭棧橋においては、ひょうたん島博覧会参加者と活動団体などに、アンケート調査を行う。

協働内容： 徳島県建築士会青年部：仮の川の駅舎を設置、アンケート部隊

NPO法人眉山大学：阿波藩ご用船「千山丸」の復元と船出

(仮棧橋から船を浮かべる)

### 2. 開催準備

ひょうたん島博覧会との調整：徳島県建築士会、NPO法人眉山大学とは、徳島市企画政策課を交えて、事前の連絡調整を行っている

アンケート調査項目について：アンケート項目に、ひょうたん島博覧会参加団体の意見を取り入れるために、各川の駅候補地における中心的活動団体によるワーキング会議を開催して、調整を行う(10/1開催予定)

### 3. アンケート調査対象者と目標人数

ひょうたん島博覧会の一般参加者(不特定多数): 900名(2日間)

川の駅候補地周辺を使ってひょうたん島博覧会で活動している団体: 70名

川の駅候補地周辺の活動およびイベントにてアンケート等を行う部隊(徳島県建築士会青年部の協力): 30名

### 4. アンケートの目的

一般参加者：川の駅事業の周知、川の駅候補地の場所と活動の検証、活用方法など

活動団体：川の駅事業の周知、川の駅候補地の場所と活動の検証、一般参加者の感触、活用方法など

アンケート部隊：場所と活動の検証、参加者や活動団体の感触、活用方法など

これらのアンケート調査結果を、今後の川の駅ネットワークにおける活動や連携、場所の活用などについての検討資料としてまとめる。